



2017年12月期 3Q 決算説明資料

2017年11月10日
株式会社フルキャストホールディングス (4848)

- P3 FY2017 3Q 業績サマリー
- P5 FY2017 3Q 連結業績（2017年1月～9月）
- P8 FY2017 3Q セグメント業績 短期業務支援事業（2017年1月～9月）
- P11 FY2017 3Q セグメント業績 営業支援事業（2017年1月～9月）
- P13 FY2017 3Q セグメント業績 警備・その他事業（2017年1月～9月）
- P15 FY2017 業績予想進捗

- 当資料では、セグメントである短期業務支援事業の表記を「短期」、以下に記す営業支援事業を「営業」と一部で記載しております。
- 第1四半期連結会計期間において株式会社エフブレインの株式を取得し、同社及びその子会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「営業支援事業」セグメントを新設しております。なお、比較対象となる前年実績がないことから、前年同期比較は行わず、実績のみを開示しております。
- 連結子会社のうち、株式会社ディメンションポケッツの決算日は1月31日であります。連結財務諸表の作成にあたっては連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。また、当第3四半期連結会計期間において、株式会社エフブレイン及びその子会社は、決算日を12月31日に変更し、連結決算日と同一になっております。なお、同社及びその子会社は従来から連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しているため、当該変更が四半期連結財務諸表に与える影響はございません。その他の連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。
- 当資料では、2012年10月1日の労働者派遣法改正法の施行に合わせて開始した、短期業務支援事業における「アルバイト紹介」を「紹介」、「アルバイト給与管理代行」及び「マイナンバー管理代行」並びに「年末調整事務代行」を「代行」と各々サービス名を省略して記載しております。また、労働者派遣法改正法の施行後も継続して行っている契約期間が31日以上の「長期派遣」サービスを「派遣」と記載しております。

FY2017 3Q 業績サマリー

● 主力事業が好調を維持し、連結業績は順調に推移

- 当第3四半期連結累計期間において、主として、当社グループの主力事業である短期業務支援事業が、期末に向けて業容が拡大する下期偏重の業績構造にある中でも好調を維持していることで、連結業績は前年同期比増収増益となった。
- 通期修正業績予想に対して、連結業績は順調に推移している。

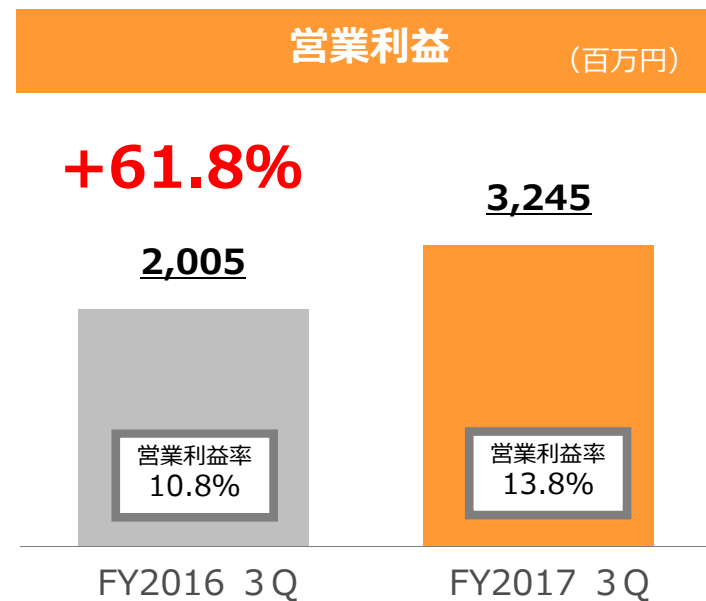
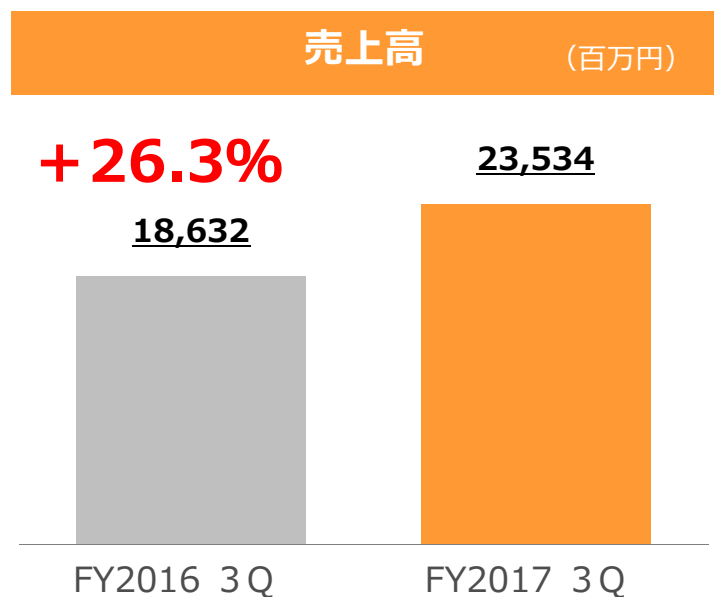
FY2017 3Q 連結業績 (2017年1月～9月)

【売上高増減要因】

- ✓ 主として、短期業務支援事業における主力サービスである「紹介」及び「代行」が伸張したこと、加えて、株式会社エフプレインを連結子会社とし、同社及びその子会社の業績を取り込んだことにより、前年同期比**26.3%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- ✓ 増収を主因とし、営業利益は前年同期比**61.8%の増益**となり、営業利益率は**3.0PT改善**した。



連結) FY2017 3Q 前年同期比較

- ✓ 株式会社エフプレインを連結子会社としたことに伴い「持分法による投資利益」が前年同期比で減少したものの、営業利益が増益したことで、経常利益は前年同期比**53.0%の増益**となった。
- ✓ 第2四半期連結累計期間までに繰越欠損金を解消したことに伴い、法人税、住民税及び事業税が増加し、加えて、当第3四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの一事業部門におけるのれん及び固定資産の減損処理に伴う特別損失48百万円を計上したものの、営業利益が増益したこと及び第1四半期連結会計期間において、株式会社エフプレインの株式取得に伴い「段階取得に係る差益」(※)167百万円を特別利益に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比**29.1%の増益**となった。

(百万円)

	FY2016 3Q	FY2017 3Q	増減額	増減率
売上高	18,632	23,534	4,902	26.3%
売上総利益	6,707	9,245	2,538	37.8%
販管費	4,702	6,000	1,298	27.6%
営業利益	2,005	3,245	1,240	61.8%
営業利益率	10.8%	13.8%	—	3.0PT
経常利益	2,107	3,225	1,117	53.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,712	2,209	498	29.1%

※「段階取得に係る差益」とは、持分法適用関連会社であった株式会社エフプレイン株式の追加取得により子会社化した際に、従来の持分を時価で見直し、時価が簿価を上回っているために発生した現金の移動を伴わない差益であります。

FY2017 3Q セグメント業績

短期業務支援事業

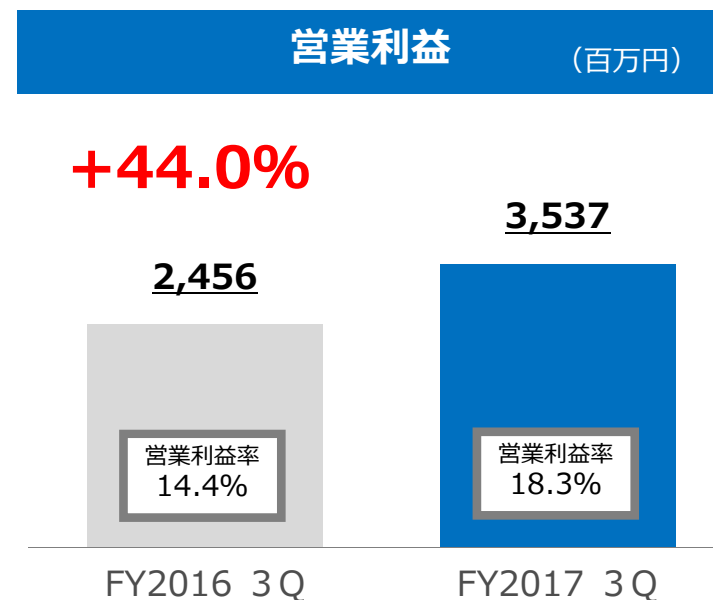
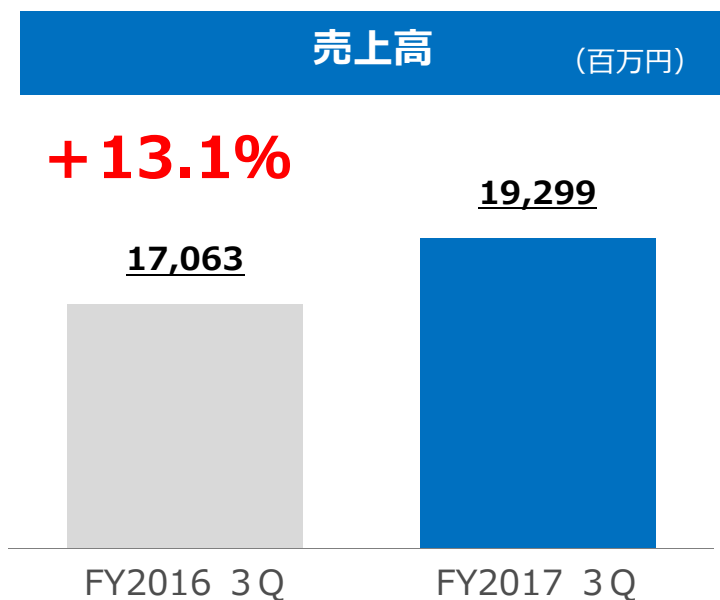
(2017年1月～9月)

【売上高増減要因】

- ✓ 顧客企業の短期人材ニーズに応え得る人材供給力を継続して確保し、主力サービスである「紹介」及び「代行」を伸張させたことにより、前年同期比**13.1%の増収**となった。

【営業利益増減要因】

- ✓ 増収を主因とし、加えて、販管費率を抑制したことで、営業利益は前年同期比**44.0%の増益**となり、営業利益率は**3.9PT改善**した。



短期) FY2017 3Q 前年同期比較 (サービス区分別)

(百万円)

	FY2016 3Q	FY2017 3Q	増減額	増減率
売上高	17,063	19,299	2,236	13.1%
紹介	2,669	3,382	713	26.7%
代行	1,731	2,067	336	19.4%
派遣	10,150	11,294	1,144	11.3%
請負	2,513	2,556	43	1.7%
売上総利益	6,425	7,667	1,242	19.3%
紹介	2,554	3,271	717	28.1%
代行	1,723	2,063	340	19.7%
派遣	1,621	1,807	186	11.5%
請負	528	527	▲1	▲0.1%

✓ 顧客企業の短期人材ニーズに对应得る人材供給力を继续して確保し、主力サービスである「紹介」及び「代行」を伸張させた。

- 「代行」サービスは、「アルバイト給与管理代行」及び「マイナンバー管理代行」並びに「年末調整事務代行」を合算しております。
- 2016年12月期期末決算より「短期業務支援事業」におけるサービス区分別売上高及び売上総利益の集計方法を変更しております。前年同期実績においても2016年12月期期末決算から採用した集計方法に置き換えております。
- 第1四半期連結会計期間より、2017年3月1日に営業を開始した株式会社フルキャストシニアワークスの実績を含めております。
- 当第3四半期連結累計期間より、2017年7月1日に営業を開始した株式会社フルキャストポーターの実績を含めております。
- これらの数値は参考数値であり、監査法人の監査を受けておりません。

FY2017 3Q セグメント業績

営業支援事業

(2017年1月～9月)

- 第1四半期連結会計期間において株式会社工フプレインの株式を取得し、同社及びその子会社を新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「営業支援事業」セグメントを新設しております。なお、比較対象となる前年実績がないことから、前年同期比較は行わず、実績のみを開示しております。
- 「営業支援事業」セグメントに属する株式会社工フプレイン及びその子会社は、当第3四半期連結会計期間において決算日を12月31日に変更し、連結決算日と同一になっております。なお、同社及びその子会社は従来から連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しているため、当該変更が四半期連結財務諸表に与える影響はございません。

【売上高】

- ✓ 主たる事業内容であるインターネット回線販売業務における代理店網の拡大施策が継続して奏功し、売上高は**2,811百万円**となった。

【営業利益】

- ✓ 株式会社エフプレイン株式取得に係るのれん償却額を当該セグメントの販管費に計上していることに加えて、同事業の業績は当社グループにおける上期偏重の業績傾向にあることから、営業利益は**217百万円**となった。

- 営業支援事業は、主として「コールセンター事業」、「WEB事業」及び「アライアンス事業」並びに「エンターテイメント事業」を行っております。
- 「コールセンター事業」及び「WEB事業」並びに「アライアンス事業」は、いずれもインターネット回線の販売業務を行っております。
- 前期実績を開示していないため、2017年12月期第3四半期連結累計期間実績のみ、記載しております。

売上高 (百万円)

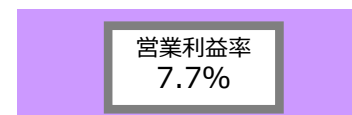
営業利益 (百万円)

2,811



FY2017 3Q

217



FY2017 3Q

FY2017 3Q セグメント業績

警備・その他事業

(2017年1月～9月)

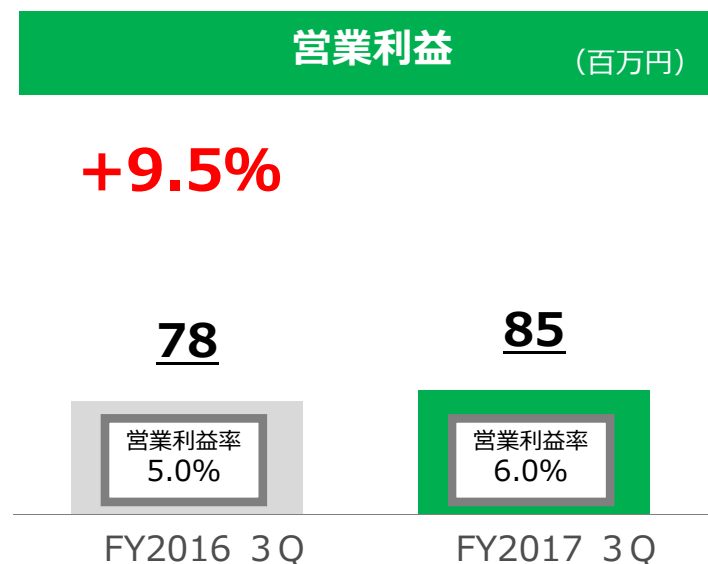
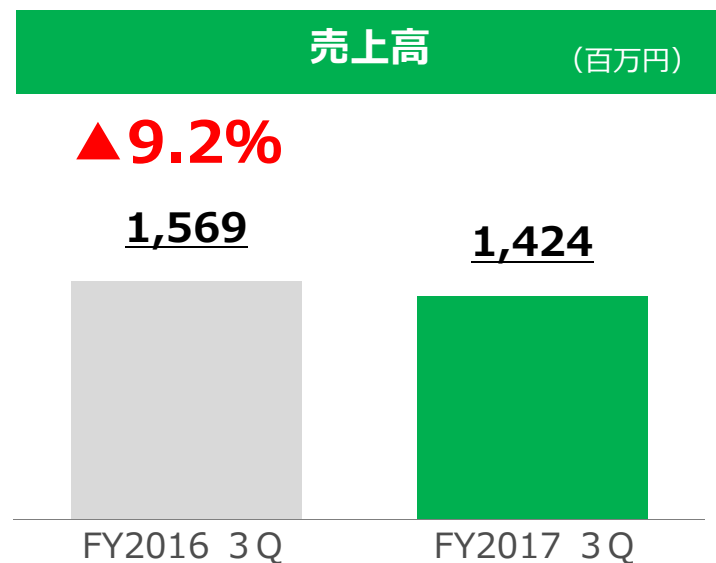
- ▶ 「警備・その他事業」セグメントに属する株式会社ディメンションポケッツの決算日は、1月31日であります。連結財務諸表の作成にあたっては連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

【売上高増減要因】

- ✓ 主として、臨時警備における入札案件が前期実績を割り込んだことから、前年同期比**9.2%の減収**となった。

【営業利益増減要因】

- ✓ 主たる事業内容である警備事業において、当第3四半期会計期間において、利益率の高い臨時警備案件を獲得し売上総利益率が改善したことを主因として、前年同期比**9.5%の増益**となり、営業利益率は**1.0PT**改善した。



FY2017

業績予想進捗

FY2017 業績予想進捗

✓ 当第3四半期連結累計期間業績は、主力事業である短期業務支援事業の牽引により、2017年8月4日に公表した通期修正業績予想に対して、業績予想の修正を要しない水準で進捗している。

(百万円)

		FY2017 3Q	FY2017 通期予想 (修正業績予想)	進捗率
売上高		23,534	31,300	75.2%
売上総利益		9,245	12,331	75.0%
営業利益		3,245	4,000	81.1%
経常利益		3,225	4,020	80.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益		2,209	2,727	81.0%
短期業務支援事業	売上高	19,299	25,961	74.3%
	紹介	3,382	4,587	73.7%
	代行	2,067	2,786	74.2%
	派遣	11,294	15,293	73.9%
	請負	2,556	3,296	77.6%
営業支援事業	売上高	2,811	3,447	81.6%
警備・その他事業	売上高	1,424	1,892	75.3%

■ 資本政策の基本的な方針

当社グループは「持続的な企業価値向上」を実現するために、適切な資本効率性及び財務健全性を保持することを基本的な方針とします。

- ✓ 「企業価値向上」を支える指標として、適切な資本効率性を保持するため、株主還元の目標を調整後当期純利益(※)に対する総還元性向50%としております。
- ✓ 調整後当期純利益に対するROE20%以上を「企業価値向上」を示す目標指標としております。
- ✓ 「企業価値向上」を実現するため、また適切な財務健全性を確保するためDEレシオ上限0.5倍としております。

※ 「調整後当期純利益」とは、繰越欠損金に対する繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の影響を除いた親会社株主に帰属する当期純利益であります。当社では、「調整後当期純利益」を総還元性向及びROE算出の基礎として使用しております。

すべての人をいちばん輝ける場所へ。



米国預託証券プログラム：

プログラムの種類：Level-1 スポンサー付き

原株との交換比率：1ADR = 原株1株
米国証券コード（CUSIP）：35968P100

Symbol：FULCY
預託銀行：バンクオブニューヨークメロン

101 Barclay Street, New York, NY 10286, U.S.A.
TEL：(212) 815-2077
U.S. Toll Free：(888) 269-2377 (888-BNY-ADRS)
Web Site：http://www.adrbny.com/dr_profile.jsp?cusip=35968P100

【お問い合わせ先】

IR課：03 - 4530 - 4830
URL：<http://www.fullcastholdings.co.jp/ir>
Email：IR@fullcast.co.jp

Fullcast Holdings IR資料は情報の提供を目的としており、投資等を勧誘するものではありません。最終的な判断はご自身でお願いいたします。また情報の内容につきましては万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。本文、データなどに関する正確性、信頼性、安全性などから起因する直接的、間接的あるいは程度を問わずこれらの情報によって生じた損害につきましては当社は一切の責任を負いません。Fullcast Holdings IR資料の著作権は当社に属し、当社に無断で転用することを禁じます。